



ディスカバリー

ハイ スクール

カンザキ

夢を発見し実現できる学校

新春カルタ大会

1月11日(木)、第八回新春カルタ大会が開催されました。今年も多くの方が見守られ、盛り上がりを見せました。百人一首の和歌が詠みあげられると、体育館に敷かれた23ヶ所の畳の上では、生徒たち歓声と笑い声が飛び交いました。

札を取っては喜び、取られたりお手つきをしたりしては悔しがらる生徒たちの姿を見ることができ、カルタという歴史ある日本の文化が脈々と受け継がれているのを感じ、喜ばしく思いました。これを機に、古典を慈しむ心を育てることができたのなら、大変うれしく思います。



また、三年生にとつては高校生活最後の学校行事となりました。チーム一丸となつての奮闘ぶりには凄まじいものがあり、三年二組が優勝、三年一組が準優勝と、最上級生としての意地と底力を後輩たちに示した形となりました。入賞したクラス、個人の皆さん、おめでとうございます。

(総合の部)

優勝：三年二組

準優勝：三年一組

(個人の部)

優勝：田中辰弥くん

(二年二組 38枚)

準優勝：森崎美琴さん

(二年一組 37枚)

三位：津田優希さん

(三年二組 36枚)

(教員の部)

西本先生(52枚)

震災追悼行事

平成7年1月17日午前5時46分に阪神・淡路大震災が発生し、多数の犠牲者と未曾有の被害をもたらしました。23年目に当たり、本校においても、午後2時40分から震災追悼行事を行いました。

まず、その犠牲となられた方々のご冥福をお祈りして、職員及び全校生徒が黙祷を捧げました。

次に、校長先生より自らの震災当時の思い出や、震災の経験を教訓として語り継ぐこと、また次なる地震などの災害に備えることの重要性について話していただき、防災・減災について考える時間となりました。

追悼行事終了後、各HR教室で、防災教育副読本『明日に生きる』から抜粋した阪神・淡路大震災の体験談を読み、まとめとして担任の先生の震災に関する話を聞きました。生徒たちがこの大震災の経験と教訓を忘れ去ることなく、継承してくれることを願っています。



労働条件セミナー



1月17日(水)4校時に、3年生を対象とした「労働条件セミナー」を実施しました。講師としてお越しいただいたのは、兵庫労働局労働基準部監督課主任監察監督官の大野孝典様です。

近年、過労死やブラック企業など暗いニュースが多いなかで、労働者の権利やトラブルに巻き込まれた時の対処法など、実際に労働局に寄せられた相談内容や労働局で幹旋した内容、さらに違法労働にあった場合の対応や労働者の権利について説明していただきました。社会人への第一歩として有意義なセミナーとなりました。

ちょっと一言 ◇阪神・淡路大震災・・・。今の生徒たちが産まれる数年前に起こった大災害の体験を私たち兵庫県民は若い人たちに語り継いでいかななくてはなりません。生徒諸君には、豊かな感受性が備わっています。例え実際に「体験」していなくても、話を聞き、本を読み、映像を目にして、じっくりと考えることによって、それは確かな「経験」となると思います。「伝える」、そして「受け継ぐ」ということを大事にしていきたいと思います。(H. H.)